

夢 塾 だ よ り

～ 令和 2 年をふりかえる ～

(第 41 号) 令和 2 年 12 月 28 日

令和 2 年は人類の歴史の中でも類を見ない「禍」の年でした。このところの相次ぐ天災。豪雨水害や河川の氾濫による水害など自然の脅威にさらされる中、追い打ちをかけるように、世界的なパンデミックを引き起こした、『コロナウィルス』で、全世界が恐怖に震えあがり、日常生活もままならず、生活スタイルが変わりました。日夜「ウィルス」に悩まされ、戦々恐々とした暮らしが続いています。

今まで「当たり前」だったことが今後は「当たり前」でなくなる生活の到来を「コロナウィルス」の出現が人類にもたらした最初の兆候であるとしたなら、この先の私たちの暮らしにとてつもない不安がおしよせてきます。

夢塾では、感染防止で、4月、8月は一部休塾にしました。できる限りの感染防止策を講じながら塾経営にあたりました。そのような中、第一志望の大学に7名が合格しました。今年から始まる「共通テスト」には8名が挑みます。全集中で頑張ってくれると思います。また、中学3年生で熱田遥音君が数検準1級に合格しました。拍手を送りたいと思います。



さて、3学期制の学校では2学期が終了し通知表をもらったと思います。その結果に一喜一憂しているご家庭もあるでしょう。

そこで親御さんへのアドバイスです。通知表はすべて過去の評価です。過ぎてしまった過去形です。現在の評価ではありません。いい評価をもらった子には「良かったね。これからもこの調子でね」と言って褒めてあげてください。悪い評価をもらった子には「この評価はすべて過去のもの。今頑張っているあなたの評価は次にでるから。過去のいい点よりも未来のいい点がいいよね」と励ましてあげてください。

来年が人類にとって今年よりはいい年になることを願ってやみません。

今年も「夢塾だより」を読んでもくださりありがとうございました。